

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（低学年の部）

タイトル： けいさつかんはヒーロー

氏名： 今井 章仁（イマイ アキト）

小学校名：香川県 小豆島町立星城小学校 三年

けいさつかんはかっこいい。悪い人をたいほしてすごい。小さい時のぼくは、家にあるピストルや手じょうなどのおもちゃでけいさつかんごっこをしていた。パトカーを見に、お母さんとけいさつしょまでさん歩したこともあった。けいさつかんが声をかけてくれて、わくわくしてパトカーを見たこともあった。ぼくにとって、けいさつかんは小さい時からのあこがれのそんざいだ。

ある日、ぼくは自分の家ぞくや親せきにけいさつかんがたくさんいることを教えてもらった。もうなくなったぼくのひいおじいちゃん、おじいちゃん。いとこのお父さんも今けいさつかんをしている。みんな悪いことをした人をたいほしたのかなあと思ったけれど、そんなことはないようだ。話を聞いたら、県知事のSP、けいさつ学校の先生、空こうのけいびなどをしていたらしい。けいさつかんの仕事はいろいろあることにびっくりした。そして、この間の大雨のさいがいで全国からのけいさつかんがおうえんでかけつけ、ひっしで活動しているのを見たことも思い出した。

ある時、けいさつかんがぼくの家に来たことがあった。何かあったのかとドキドキしながらお母さんがけいさつかんと話しているのを聞いていた。でも、けいさつかんはニコニコと話しているだけ。後で何があったのか聞くと、この家にだれがすんでいるか、こまっていることはないかと聞きに来たそうだ。一けん一けん回っていくのは大へんだろうな。でも、こまったことがあると、どこでもすぐに来てくれるはず。ぼくらの生活は安心だ。

本当のけいさつかんはこわそうでなく、やさしくて強い。どんな時もたよれるヒーローだ。ぼくもけいさつかんになりたいと思ったことがある。でも自しんがない。だって、ぼくは力も弱いし、血を見るのが大きらい。こわいとにげだしてしまう。そんなぼくだけど、もし、がんばっているけん道で弱点がこくふくできたら、まよわずけいさつかんになろう。